

ほうでえ～

ありゃ～のう

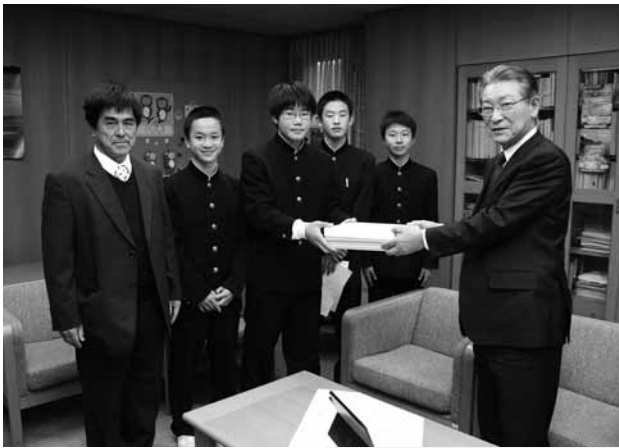
周防大島町の話題

起業家体験の収益を町へ寄附

東和中学校の2年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる「起業家体験学習」で、設立した会社で得た利益3万9941円を町へ寄附されました。

起業家体験学習は6年前から行われており、道の駅でのアンケート調査をもとに事業計画をつくり、保護者や地域の方々に説明し出資金を募る本格的なもので、2年生20人が4つの班に分かれて会社を設立し、11月4日に行われたルーラルオレンジフェスタで、クッキーやフランクフルトなどの販売やゲームコーナーを運営されました。仕入れ交渉から宣伝・販売まですべて自分たちで実践し、株主総会ではすべての会社から収益の一部が出資者に配分されました。

また、この取組が全国の銀行などで組織される金融広報中央委員会の「実践報告コンクール」で特賞に輝いたことも報告され、寄附を受け取った椎木町長は「大変貴重な体験。寄附金は本来なら生徒さんの給料にあたる部分であり大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



▲椎木町長⑥に寄附金を届けた（奥から）松嶋咲太さん、渥美朔也さん、塩崎蒼太さん、山中涼聖さん、西村仁明教諭

高規格救急自動車を配備

柳井消防署東部出張所（内入）にこのほど高規格救急自動車が配備されました。これは平成15年度に配備し走行距離が22万キロを超えた車両の更新によるもので、主な特徴は、反射材を3方向に取り付け、隊員の安全を確保するほか、12誘導心電図の導入により、心疾患の鑑別を病院と同レベルで行うことができます。事業費は3119万400円。1月15日運用開始。

▶東部出張所に配備された高規格救急自動車



▶厳肅かつ盛大に行われた消防出初式



決意新たに 消防出初式

1月5日、東和総合センターにおいて消防出初式が行われました。

式では、椎木町長が消防団員の日頃の活動への謝意を述べるとともに、近年大規模化する自然災害に対して「自助・共助・公助の役割分担の意識の向上と相互の連携を密にし、地域防災力の充実強化を図りたい」と式辞を述べました。続いて、東弘志消防団長が「消防団は地域防災の要。団員同士の結束と地域住民との協働で災害の軽減に努めたい」と訓示を述べました。

昨年は町内で12件の火災が発生しており、私たち一人一人も火災予防の意識を高く持って、火事を出さないよう気をつけましょう。